

授業科目名	ジオパークと地域	担当教員	川村 教一 松原 典孝 佐野 恭平
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3年第2クォーター		
講義内容	2010年に世界ジオパークネットワークに加盟した山陰海岸ジオパークには日本海形成に伴った多様な地形、地質、風土が存在する。ジオパークの活動は、それらを保護しながら地域づくりに活かそうとするものである。この講義では、フィールドワークを中心にジオパークの景観を観察し、活動の現場に接することで、地質・地形と文化・産業等との関係性や地域におけるジオパーク活動の意義を理解することを目的とする。		
到達目標	本講義の到達目標は、履修者が、ジオパークでの様々な活動について理解するとともに、地域特性を作り出す地域の地形・地質と人々の暮らしの関係性やそれが地域社会に与える影響について分析・考察できるようになることである。		
授業計画	<p>授業は3コマ分教室で講義をしたのち、山陰海岸ジオパーク地域で1泊2日の研修旅行(7コマ分)をおこなう。11, 12コマ目は教室でまとめと発表を行う。</p> <p>◆事前学習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ジオパークとは何か - 各地のジオパーク、ジオパーク活動の考え方。 2. 山陰海岸ジオパーク - その特徴と活動、火山とジオパーク 3. ワークショップ1 - 事前自主学習 <p>◆フィールド1日目</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. コウノトリの郷公園：学習施設で活動されている方の講話 5. 玄武洞・ガイドの実際を見学 6. 竹野海岸の地形・地質と自然保護施設 7. ジオパークでの持続可能なビジネスについて講話 8. ワークショップ2(竹野) 現場を見たことを踏まえた現状分析 <p>◆フィールド2日目</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 香美町「海の文化館」などの展示・学習施設を見学 10. 神鍋高原 現地でガイドをされている方の講話 <p>◆まとめと発表</p> <ol style="list-style-type: none"> 11. ワークショップ3 ``発表準備 12. ワークショップ4 ``発表と意見交換 		
事前・事後学習	授業で学修したことに関する小レポートを各回に作成し、提出すること。		
テキスト	特に指定しない		
参考文献	現地でのジオパークに関する資料等		
成績評価の基準	自然と社会の相互作用解明や地域資源のマネジメントに関わる独自の方法論への理解を深め、学際的実践研究をすすめる高度な素養を獲得した者に、単位を授与する。		

履修上の注意 履修要件	授業における実習等の費用は学生の負担とする。
実践的教育	該当しない。
備考欄	履修者が定員を超過した場合、抽選を行う。